

議会だより

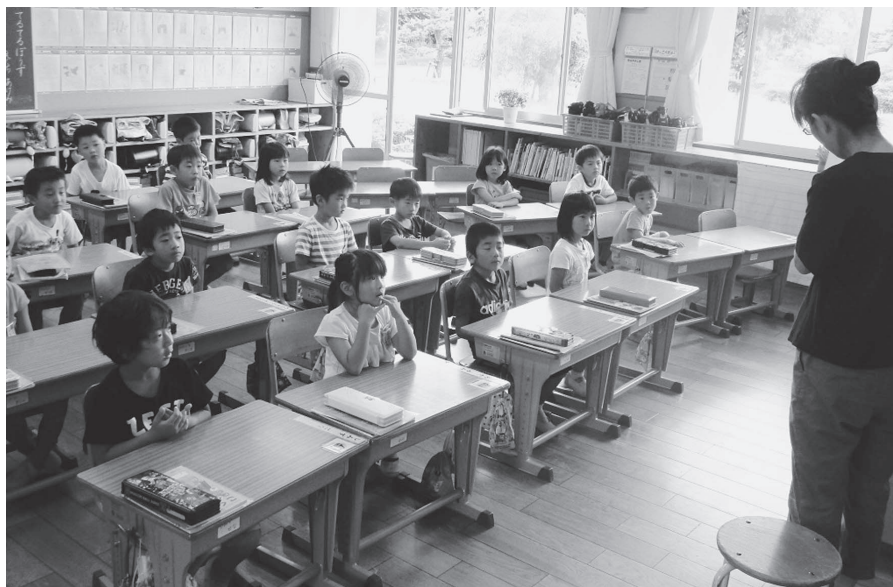


12月定例会

- 2 夏にまにあう小学校エアコン
- 5 6議員が町政を質す
- 12 常任委員会行政調査
- 16 新成人に聞きました

夢に向かって頑張ろう!

猛暑に備え小学校にエアコン ことし夏までに整備



今後は一年を通して快適に学習することができ、学力アップに期待したい。

12月定例会を、12月18日から20日まで3日間の会
期で開きました。

一般会計補正予算など、追加2議案を含む13議案
を、原案通り可決しました。
また、議員発議案1件を可決しました。

主な議案の概要・質疑

一般会計補正予算

2億6479万円を
増額し、予算総額を
72億1822万円としま
した。

歳出の主なもの

小学校空調整備事業費
1億3389万円増額
国の補正予算が措置さ
れたことにより、前倒し
で実施。

問 従前と今回の財源の
内訳は。

答 従前は、事業費
を過疎債で対応し、
4000万円程度を単町
費で負担する予定だっ
た。

今回は、国庫補助金、
学校教育施設整備事業
債、過疎債で対応し、実
質の単町費での負担は、
2300万円程度になる
見込みだ。

問 すでに設計業務は完
了しているが、国の補助
対象となるか。

答 30年度に実施した業
務は補助対象となるが、
今回実施する工事費の㎡
単価が、国が定めている
㎡あたりの補助単価を上
回るため、設計業務は補
助申請の対象とはしてい
ない。

災害復旧費

1293万円増額
台風24号で被災した、
陸上地内の赤左近川の復
旧工事。

台風21号で被災した、
本庄向山と鳥越の農地2
か所の復旧工事。

健康増進事業費

275万円増額
がん検診の受診者が増
加したことによる増額。

U・J・ターン推進事業費
226万円増額
空き家改修家財道具整
理の補助などの実績見込
みによる増額。

職員人件費の補正

問 県職員は上げないと
報道された。

県同様に、町も財政事
情は楽ではないと思う
が、県と町の考え方の違
いは何か。

答 県は人事院と同様な
人事委員会を設置し県内
企業などの動向を調査
し、判断している。

町には、人事院のよう
な機関がないため、国の
勧告に基づき給与の位置
づけを行っている。

意見 県職員は県内の実
情に合うものとなる。

総枠で上げることに反
対ではないがメリハリを
つけるべきだ。

新年のごあいさつ



議長 足立 義明

あけましておめでとうございませう。

昨年7月の一般選挙で、町民の皆様から強いご支援

とご厚情をいただいた12人の議員が、新たな岩美町議会を構成し、私が議長に推挙されましたから、早や5か月が経過いたしました。新年を迎え、改めてその責任の重みを痛感し、誰もが安心して心豊かに暮らせる岩美町の実現を目指して邁進する決意を新たにしていると申します。

少子高齢化やグローバル化により、行政課題が次々に生じている中で、本町が進めてきた地域創生総合戦略や第10次総合計画を着実に前進させることが必要です。

岩美町に生まれ育った子どもたちが、「自信」と「誇り」をもって町の未来を担うことができるよう、町民の皆様が守り育んでこられました美しい自然や、豊かな伝統文化などを生かして、学習環境の整備を進めることが重要です。

昨年夏は、命の危険がある暑さといわれ、統計上、最も高い平均気温を記録しました。今年は各小学校の普通教室と特別支援教室に空調設備が設置されます。

また、昨年着工されました中央公民館・図書館が、今年10月にリニューアルオープンする予定です。よりよい運営のために町民の皆様に積極的に関わっていただき、すべての町民の皆様に親しまれる知的活動の拠点となることを求められます。

我々議会も、町民の皆様の声を真摯に伺いながら、各常任委員会を中心に調査研究や審議を進め、個性豊かで活力に満ちた岩美町の実現に向けて、引き続き邁進してまいります。

常任委員会調査報告のテレビ放映、議長交際費支出状況のネット公表や、議員報酬を自ら問い直す取り組みを進めています。

町民の皆様には、議会に一層の関心と、ご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。

結びに、亥（イノシシ）は無病息災の象徴といわれています。健康で笑顔あふれる良い年となりますことをご祈念申し上げます。

議長交際費の支出状況を岩美町議会ホームページで公表しています。

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

職員の不祥事など、町民の信頼を損なうことが続いたことに対し、町長、副町長及び教育長の監督責任を明らかにするため、給与を減額するもの。

討論

反対 杉村 宏議員

特に今回の飲酒運転は、飲酒しながらの運転であり特殊な事犯だ。

事態の深刻さを真摯に受け止めるべきであり、この程度の減額では賛成しかねる。

議員報酬調査特別委員会の設置

前期の議会が6月に諮問し、特別職報酬等審議会が11月に出した答申に対し、新しい議会としての対応を議論する。

討論

反対 杉村 宏議員

前期の議会に議論を委ねられた議会改革の事項が数ある。

また、鳥取県町村議会議長会が集計している、一般質問の実施状況は県内最低レベル。議会の活性化に向けた取り組みがないのは岩美だけだ。

主権者からは議会に対して非常に厳しい意見もいた

議会改革調査特

議会は、議員報酬を自ら問い直すため特別委員会を設置した

別委員会を再設置し、報酬はもろもろの改革を行ったうえで最も最後に行つべきなので、報酬のみを調査する特別委員会を設置することには反対だ。

賛成 田中克美議員

この議員報酬調査特別委員会は、報酬を上げることでも下げることも含め、一切出口を決めず議論する特別委員会だ。

審議会から出された答申に対して、新しい議会としてどのように対応するか結論を出さなくてはならない。

したがって、議会改革をすべて議論し、やりつくしたうえで報酬の議論をすることは性格が違

人事

教育委員会委員の選任に同意しました。任期は、30年12月26日から4年間です。

小西 由美さん(大谷)

12月定例会の審議結果と賛否の状況

■全員一致で可決又は同意した議案

※足立議長は本会議の採決に加わらない。

提出者	議案	提出者	議案
町長	鳥取県町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更	町長	代替バス運送事業特別会計補正予算(第2号)
町長	職員の給与に関する条例の一部改正	町長	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
町長	税条例の一部改正	町長	集落排水処理事業特別会計補正予算(第2号)
町長	地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正	町長	公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
町長	一般会計補正予算(第5号)	町長	介護保険特別会計補正予算(第2号)
		町長	病院事業会計補正予算(第1号)
		町長	教育委員会委員の任命

■賛否が分かれた議案

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	反対：杉村 宏
議員	議員報酬調査特別委員会の設置	可決	反対：杉村 宏

陳情等の審査結果

件名	結果	不採択の理由	賛否の状況
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書 提出者 移植ツーリズムを考える会 理事 井田 敏美	不採択	臓器移植希望者が望むほどに提供者が増えていないのは、臓器移植に対する国民の理解がまだ進んでいないからで、今の法の下で環境を整えるだけでは、提供者は増えない。国民の理解を進めること、法を改正することが先決である。	採択 吉田保雄 杉村 宏
「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情 提出者 基地のない平和で豊かな沖縄をめざす会 芳沢 あきこ	不採択	2012年に第2次安倍内閣が発足し、2017年の衆議院議員総選挙でも過半数を大きく上回る議席を得ており、この間、国民の支持を得た中で実現されている内閣であると思われること、陳情が指摘する問題については、国会審議を通じて説明を重ねていると思われる。	採択 杉村 宏 田中克美
待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書 提出者 鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	趣旨採択		採択 杉村 宏
岩美町老人福祉センター(岩美町岩井614)の調理室と駐車場の拡張について 提出者 岩井地区自治会 自治会長 小谷 敏	採択		不採択 杉村 宏

討論

臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書
(不採択)

不採択(井井祐子議員)
脳死が人の死とは限らない。

採択(杉村 宏議員)
臓器移植が現在の医療で認められている以上、その環境を整えることは当然である。

「安倍内閣の退陣を求める世界平和7人委員会のアピール」を支持する意見書提出に関する陳情
(不採択)

採択(田中克美議員)

出入国管理法改定案などの重要法案をまともな審議をせずに次々と強行する暴走、沖縄で県民の民意も条例なども無視した強権政治、憲法9条改定への常軌を逸した暴走などが、国会と国民を愚弄している。

不採択(寺垣智章議員)
先の衆議院総選挙で過半数の議席を得ており、政権を担うべきである。

採択(杉村 宏議員)

福島原発事故に関して放射能が「アンダーコントロール」など、国会でその場しのぎの発言は、世界に対して恥ずかしい。

待機児童解消、保育士等の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書の提出を求める陳情書
(趣旨採択)

採択(杉村 宏議員)

保育士の処遇改善は当然だ。
女性の立場向上のためにも、必要である。

岩美町老人福祉センター(岩美町岩井614)の調理室と駐車場の拡張
(採択)

不採択(杉村 宏議員)

全議員で理解を深めたうえで、3月までに結論を得たい。

一般質問

6議員が町政を質す^{ただ}

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

12月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
森田洋子	6	1 防災減災対策について 2 放課後児童クラブについて
吉田保雄	7	1 冬期・積雪時の生活道路、通学路および小中学校並びに保育所の駐車場などの除雪について 2 町の公式行事および教育委員会行事などの日程管理について
橋本 恒	8	1 少子化対策としての妊娠出産支援について 2 学校運営と電子メディア使用の指導について
升井祐子	9	1 防災のきめ細かな対策について 2 岩美高校の魅力化について
杉村 宏	10	1 除雪経費補助を 2 快速便の利便向上を 3 重要案件は、全町民の声を
田中克美	11	1 国保税について 2 納税者の権利及び納税緩和制度について 3 水道民営化について

議会だよりでは、内容を要約してお知らせします。
詳しくは議会事務局や議会ホームページをご覧ください。

防災・減災対策の強化を

森田洋子議員

災害時に役立つ訓練に取り組み

西垣町長



森田洋子議員

校区に分けて順番に行っている。自治会においては、年1回は実施している。内容がより実践に近く、実際の災害時に役立てるよう取り組みたい。

森田 今年、日本列島はいくつもの大規模災害に見舞われた。

本町の自主防災組織は、どのような役割を担い、活動をしているか。

町長 共助の精神に基づく自主的な防災活動を行い、災害による被害を防止、軽減するという役割を担っている。

森田 自主防災組織における防災訓練の状況はどうか。

町長 町内3地域、小学

なっている。非常用電源装置、非常用トイレ7基など設備している。

31年には、対応できる訓練する計画だ。

森田 西日本豪雨で、ため池の決壊により多くの死傷者が出た。

本町のため池の数と危険性の高いため池はいくつか。

町長 本町のため池は25カ所、いま危険なものは1カ所ある。

森田 国は、防災重点ため池の災害時緊急連絡体制などの整備を進めようとしている。

本町はどう考えているか。

町長 本町の防災重点ため池は、鳥越の天神池、



防災重点ため池に指定されている鳥越の天神池

本庄の池谷ため池、河崎の越路堤の3カ所だ。

防災重点ため池の基準が見直されており、町内でも数カ所追加指定される見込みだ。

今後の指定を受けて、緊急連絡網など整備を予定している。

放課後児童クラブの一層強化の運営を

森田洋子議員

現在の体制で健全育成につなげたい

西垣町長

森田 放課後児童クラブは、3クラブあるが、指導員の数に適正か。障がいのある児童の対応はどうか。

町長 3クラブとも、利用人員に対し、3人から4人で適正数である。

特別な支援のいるお子さんには、1対1で対応している。

森田 3クラブを1人のセンター長がみるのではなく、それぞれ置いて運営してはどうか。

町長 常勤を置くことは難しい。

職員と支援員の連携、情報共有を図りたい。

保護者との連携を密にし、さらなる健全育成につなげたい。

森田 放課後児童支援員認定資格研修の対象基準は。

また、現在何人の資格者がいるか。

町長 保育士の資格、教員免許を有する方、高卒で、かつ2年以上従事した方である。17人中10人が資格を持っている。

さらに、受講していたくよう努めたい。

除雪の取り組みはどうか

吉田保雄議員

除雪機9台で73路線 約60キロだ

西垣町長



吉田保雄議員

吉田 積雪時に町内の生活道路、通学路の除雪をどのように考えているか。

町長 町としての除雪対策は、73路線、約60キロを除雪する計画だ。

基本的には、バス路線、国道・県道と集落を結ぶ幹線道路などを機械で除雪する。

町保有の3台、業者の6台の計9台の除雪機械で主要町道の除雪を行う。

集落内の道路などについては、地域での共助という形で除雪対応をお願いしている。

町の除雪作業は、朝4時ごろから通勤通学に間

に合う時間帯までに除雪作業を進めるように努力している。

吉田 町内各所に融雪装置の設置計画があるか。

町長 融雪装置は、現在14路線、約5.4キロの管路が敷設されており、井戸水などの水源は12カ所だ。

老朽化などに対応し、管路やポンプの更新を計画的に実施している。

融雪装置の新規設置は考えていない。

吉田 通学路の除雪はどう対応しているか。

町長 通学路の現状は、集落内はPTAや住民の皆さんに除雪を行っていただいている。

国道や県道の歩道は、

小型除雪機を借り受けて、業者委託や自治会、PTAなどに貸し出して除雪を行っていただいている。

吉田 学校と保育所の駐車場の除雪が必要だがどうか。

町長 各小・中学校には小型除雪機1台を配備しており、通路、駐車場などの除雪を保育士や教員が行っている。

吉田 保育士や教員が雪かきをしてから校舎に入るような状態で、「教育の町・若美町」といえるのだろうか。

町長 駐車場については、職員協力も必要と思う。

町は、町道の除雪が終わった後で、駐車場の除雪を行っている。

吉田 高齢化・人口減少の中、除雪ボランティアの支援を拡張していくべ

きと考えるがいかがか。

高齢化が進むので、ボランティアの協力が得られる方法を模索したい。

町長 自助・共助が基本である。

町の公式行事の日程管理は

吉田保雄議員

町は重複しないよう調整している

西垣町長

吉田 公式行事の日程は、どのように調整しているか。

慰霊祭は、静かに慰霊をする日。

他の行事を重複させるのはいかなるものか。

町長 町の主催する行事や教育委員会および実行委員会の主催する行事、さらには学校独自、保育所独自で計画される行事など、さらには地域が計画される行事などがある。

町長 戦没者の合同慰霊祭の日がちが固定されている中、県大会を見据えての予選会の運営であったと思う。

町のかかわる行事日程については、関係課で十分調整してなるべく重複しないように心がけている。

学校行事の運営には、それなりの時期のこともあり、町民の方の出席の部分については選択をいただくといい心苦しい話ではあるが、ご理解をいただきたい。

吉田 慰霊祭と若美郡の小学校の記録会の日程が重複して、苦勞された方がいた。



集落入り口付近をボランティアで除雪する住民

不妊検査・不育症に町独自の支援を
橋本 恒議員

助成を検討したい

西垣町長



橋本 恒議員

橋本 人口減少は町最大の課題だと思う。現状認識と要因をどう考えるか。

町長 町としても最優先の課題だと考える。

原因は町外への転出、未婚化、晩婚化、少子化によるものではないか。

橋本 少子化対策として、妊娠出産支援が必要だと考える。

不妊検査の助成は県にはあるが、町にはない。

町独自の助成制度を新設する考えはないか。

土曜授業で学力は向上したか
橋本 恒議員

具体的な成果の判断は難しい

寺西教育長

橋本 土曜授業を実施してから3年経過し検証が必要だ。

主な目的は学力向上だと認識しているが、具体的な成果はあるか。

教育長 地域活動には充実を感じている。

全国学力・学習状況調査の結果は年により上下があり、具体的な成果として判断するのは難しい。

橋本 教員アンケートで多くが土曜授業に否定的な回答をしている。

教員の多忙感の一因だと考えるがどうか。

教育長 さまざまな意見を聞きながら、よりよい土曜授業のあり方を研究する。

橋本 倉吉市は、土曜授業の見直しを検討している。労務管理の面からどうか。

教育長 振替休日を取りやすい環境づくりなど、一層の工夫をしていく。

電子メディアの使用をどう指導するか

橋本 職業としてユーザー、プログラマーを目指す子どもの電子メディア使用を、どのように指導するか。

教育長 生徒本人や家庭の判断を尊重し、学校は頭ごなしの否定はできない。

学校ではリスクや懸念を踏まえた指導をしている。

橋本 現在、色覚検査は任意となつている。最新の受検率と異常が疑われる件数は。

教育長 30年度は小学3年生と中学1年生の希望者で実施。受検率は小学校89%、中学校81%。小学生1人、中学生1人が色覚異常の疑いと診断された。

橋本 色覚異常があると授業、進学、就職に支障がでる場合がある。色覚検査を受けないデメリットを周知することが必要ではないか。

また、授業では読みやすい色使いを配慮しているか。

任意の色覚検査への対応は

橋本 現在、色覚検査は任意となつている。最新の受検率と異常が疑われる件数は。

教育長 30年度は小学3年生と中学1年生の希望者で実施。受検率は小学校89%、中学校81%。小学生1人、中学生1人が色覚異常の疑いと診断された。

橋本 色覚異常があると授業、進学、就職に支障がでる場合がある。色覚検査を受けないデメリットを周知することが必要ではないか。

また、授業では読みやすい色使いを配慮しているか。

教育長 児童生徒の利益にならないよう、周知は丁寧におこなう。色使いについては専門医の意見を聞きながら配慮している。

また、授業では読みやすい色使いを配慮しているか。

教育長 児童生徒の利益にならないよう、周知は丁寧におこなう。色使いについては専門医の意見を聞きながら配慮している。

また、授業では読みやすい色使いを配慮しているか。

教育長 児童生徒の利益にならないよう、周知は丁寧におこなう。色使いについては専門医の意見を聞きながら配慮している。

また、授業では読みやすい色使いを配慮しているか。



充実を感じる土曜授業の地域活動
岩美西小学校「海の学校」

防災対策はきめ細やかに

升井祐子議員

マップを再配布する 自助は大事

西垣町長



升井祐子議員

どへの避難が必要な地区の場合、町の補助金にて灌木などの伐採による避難道の整備をしてはどうか。

升井 災害は、全国でいつ、どの様な形で発生してもおかしくない状況となっている。

ハザードマップを見ている人は少ない。有効な設置場所はないか。

町長 どこかへの設置と一つではなく、情報提供という意味で、全戸への再配布を検討する。常時自宅で見ても、家族で話ができるような状況が望ましい。

升井 発災時に、裏山な

いただきたい。

升井 電柱に、現在地の標高と津波予想の表示があれば、避難目安になると思うが。

町長 表示による安易な思い込みが、命の危険を招く場合もあるのでないか。

今後の検討課題である。



津波を想定して地域の高台に避難する防災訓練
田後地区コミュニティーセンターグラウンド
海拔 18.7メートル

みんなが行きたい岩美高に

升井祐子議員

生徒に選ばれるよう支援したい

西垣町長

升井 岩美高校は若者の少ない岩美町にとって、大変重要。

しかし、受験時の倍率は、昨年0.45倍と低迷している。

過去の生徒数と、生徒や父兄の満足度は。

松本教育委員会次長

生徒数は24年277名、30年187名。満足度については承知していない。

升井 みんなが行きたい岩美高に変わるため、心を込めたマナーなどの教育を取り入れてはどうか。岩美高校の30年度の自己評価表では、生徒は自己肯定感が低く、自信が持てない傾向とある。

学力の向上をしつつ、マナー全般、料理、冠婚葬祭の知識、その他実用的で、すぐに役立つもの。

さらに、おもてなしや、サービス精神などを、教育の一環として取り入れ学ぶことで、自分に自信を持ち、意欲的に学習に励んだり、将来を考えられるようになると思う。

人に喜んでいただきたという精神を身につけた人がたくさんいるところには、人が集まってくると思う。

町長 提案は、岩美高にしっかり伝える。

岩美高が生徒から選ばれる学校となるよう、他校の方策を参考にしつつ、高校や議会とも協議、相談し、支援したい。

除雪経費に補助を

杉村 宏議員

一年かけて検討する

西垣町長



杉村 宏議員

町長 補助は必要で、今後、検討したい。

杉村 鳥取市は、除雪の時期が終わってから、交付申請だ。

30年度の交付は無理か。

杉村 29年に33年ぶりの豪雪、本年も相当な積雪を記録した。

小型除雪機による除雪を自治会などで実施していただいている。経費補助を始めるべき。

町長 きちんと想定しながら、1年間かけて検討する。

杉村 遅いのではないかとすべきた。

快速便の利便向上を

杉村 宏議員

ダイヤ改正時の検討だ

西垣町長

杉村 日本交通株は、10月からバスの快速便を運

行している。

岩美駅から中央病院ま



岩美駅で乗客を待つ日本交通の快速便

で20分で、20分間の短縮だ。

利便は確実に向上した。運行が始められている以上、20分短縮の利便享受をバス利用者から奪ってはならない。

快速便の利用状況を把握しているか。

田中企画財政課長

1便当たり10月は0・59人、11月は0・52人だ。

杉村 町内の停留所は岩美駅1カ所だ。

浦富ICに近いサンマート前など停留所追加や、ダイヤ見直しを、日本交通と協議しないか。

町長 ダイヤ改正時に検討してみたいという返事だ。

重要案件の調査は、全町民を対象に

杉村 宏議員

調査内容に応じ、対象を選択

西垣町長

杉村 11月のいわみ地域創生チャレンジフォーラムで、蒲生地区発表に感銘した。

することは必要だ。調査内容に応じて、できるだけ多くの方の意見を伺うよう努める。

中学生以上の全住民アンケートに挑戦され、回答率は63%。地域の宝である中高生は全員から回答があった。

「みんなでやるぞ」とするため、全住民アンケートに挑戦した姿勢がすばらしい。

27年の地方創生アンケートは千人と中学生、本年の交通実態アンケートは4千人を抽出し実施した。

町は蒲生地区の取り組みに学び、重要な案件では、中学生以上の全町民を対象にアンケート調査すべきた。

町長 中学生以上を対象にしたアンケートを実施

納税緩和の趣旨は納税の継続だ

田中克美議員

趣旨はその通りだが 判断は個々に

西垣町長



田中克美議員

田中 差し押さえの猶予や解除、滞納処分停止など納税緩和制度は、市県民税や国保税などに適用されると思うがどうか。

沢務課長 国保税、町県民税、固定資産税、軽自動車税に適用される。

田中 生活費に税金をかける、能力に応じて負担するが憲法の考え方だと思うが、どうか。

町長 租税は各人の能力に応じて平等に負担されるべきと理解している。

田中 納税緩和の要件について説明を求めます。財産の差し押さえの猶予または解除の要件は何か。

税務課長 納税の意思を有すると認められ、かつ事業の継続または生活の維持を困難にするおそれがある場合だ。

田中 滞納分以外について納税を続けている場合には、納税の意思が認められることになるか。

税務課長 納税の意思があると理解している。

田中 滞納処分が停止できる要件は。

税務課長 1は、滞納処分できる財産がない、2は、滞納処分によって生

活を著しく逼迫させるおそれがある、3は、滞納者、滞納処分できる財産とも所在不明の3つだ。

田中 納税緩和制度に共通の要素が二つあると思う。一つは、納税について誠実な意思が認められるとき、二つは、生活の維持あるいは事業の継続

へ配慮すること。

滞納者を直面している苦難から救済し、滞納分以外は納税している状況を継続してもらうのが制度の趣旨ではないか。

町長 そのとおりだと私も思う。ただ、個々の事例について判断せざるを得ない。

水道事業は民営化するな

田中克美議員

民営化はしない 町が責任を持つ

西垣町長

田中 臨時国会で成立した水道法の改正は、水道事業に公共施設等運営権制度（コンセッション方

式）を導入した。これは、民間事業者に水道事業の運営権と料金徴収権を渡すものだ。こ

の方式で水道事業を担うのは、外国の多国籍企業になる可能性が高い。

最も大切な生活インフラである水道を、外国企業に売り渡すものだ。

民営化は絶対にやるべきではない。
町長 何であるかと、民営化はすべきでない。町が責任を持つ。

国費一兆円投入で国保税負担は

田中克美議員

一人当りで半額になる

飯野住民生活課長

田中 全国知事会は、加入者の所得が低い国保が他の医療保険より保険料が高く、負担が限界になっていることを、国保の構造問題と捉えている。

町長 構造的な問題の解決には、公費投入しかない認識している。

町長 他の医療保険よりも保険料が高く、負担が限界に近づいているのはそのとおりだと思う。

田中 国保が他の保険より高いのは、国保に均等割、平等割があるからだ。1兆円で均等割、平等割をゼロにできる。

町長 均等割、平等割がなければ、町の国保税はどれだけになるか。

住民生活課長 30年度の保険料が1人当たり9万2965円なので、2分の1の4万6483円という試算が出る。

田中 この問題解決には、公費の投入しかない。全国知事会の1兆円公費負担増という主張を、どう受けとめるか。



水道管耐震化のための敷設替え工事に伴って仕切弁を操作する町職員

常任委員会行政調査

総務教育常任委員会

調査日

30年10月26日

調査先

山口県山口市

調査の目的

岩美町では、少子高齢化と人口減少が進む中、町営バスの運行収入は減少し続け、経費は運転手不足も絡んで大きく増加している。

高齢化が一層進む中で、町民の交通手段をいかに継続的に確保し続けるか大きな課題である。

地域公共交通分野で民間事業者や地域住民との先進的な取り組みが評価されている山口市の実情を調査し、持続可能な地域公共交通の在り方を模索する。

調査の概要

▽市民交通計画の策定

生活圏域としてまとまった自治会のある21の地域（面積4・09km²、人口12,981人、高齢化率27・4%の湯田

意により運行している。

事業主体 地域組織（自治会や商工会など）

運行主体 地域のタクシー業者に委託

運行範囲 地域内

運行形態 地域が決定（定時定路線や一部デマンド）

運賃 地域が決定（1乗車200円又は300円）

補助基準 乗車率・収支率ともに30%以上を条件に不足額を補助

▽グループタクシーの導入

コミュニティタクシーは、ある程度の密度で人口規模のある地域でなければ、効率的な運行が困難である。そこで、普通のタクシーの数人による割り勘での利用を促す「グループタクシー」事業を創設している。

助成額 1人につき300円から700円の一定額を助成するタクシー利用券を年間60枚交付

多人数で乗り合わせれば、割り勘でさらに自己負担が減る。

まとめ

山口市では、交通ジャーナリストを座長に、行政、住民、民間事業者が話し合いながら、人口が集中する湯田地域や、過疎化が進む阿東地域など、さまざまな地域の実情に応じた形で、コミュニティバスやコミュニティタクシー、グループタクシーなどの交通システムを考え、地域住民が主体となって持続可能で効率的な運営を目指して取り組まれていた。

本町では、町営バスの運行委託料が平成30年度から3年間で1・6倍に増額となる見込みであることなど、地域公共交通を取り巻く環境は厳しく、より効率的な運行が求められる。

乗客数に合わない大きなバスの運行は、ミニバス車両への検討や、通勤通学や通院、買い物などの住民の主な活動時間に合わせた運行計画への見直しが必要と思われる。

一方で、運賃や利用者の利便性を考慮し、より多くの町民に利用しやすい交通体系を考える必要がある。

高齢者や障がい者が利用しやすいよう、各地区や集落にボランティアを活用した運転手を確保して家から目的地まで輸送することや、利用者が出かけたときにいつでも呼んで利用できる安心感と利便さなどがメリットとされる、信頼のある地元タクシーを活用した山口市のグループタクシーなど、バス以外の移動手段も、高齢化が進む中で検討したい。

あわせて、岩美駅前のタクシー運行は午後7時前には終了しているため、それを補完するため、自家用車での有償運送を模索したい。

調査日

30年10月26日

調査先

広島県大崎上島町

調査の目的

町内で唯一の高校である岩美高校の生徒数が減少を続け、その存続が危ぶまれており、町の活力を維持、向上させるためにも岩美高の存続が強く



高校の魅力化について説明を受ける

常任委員会行政調査

求められている。

県立高校の存続のために高校と連携して精力的に高校の魅力化に取り組み、成果を上げている大崎上島町の実情を調査し、本町における岩美高校存続に向けた高校魅力化の施策の在り方を模索する。

調査の概要

▽大崎海星高等学校活性化地域協議会の設置

26年に県教委の「今後の県立高校の在り方に係る基本計画」で、1学年1学級規模の学校は、学校関係者などで構成する「学校活性化地域協議会」を設置し、3年間市町と連携して活性化策を実施し、全校生徒80人以上を

目指すとされた。

全校生徒数80人を大きく下回っていた大崎海星高校でも協議会を設置し、定期的に議論を重ね、大崎上島町は27年度からさまざまな支援を行うことになった。

会長 町長

副会長 当校同窓会長

委員 町議会議員（総務

福祉文教常任委員長）、

町教育課長、郵便局長、

中学校長、小学校長、

当校PTA会長、地域

コーディネーター、当

校学校長

▽公営塾運営事業

町内に高校生向けの私塾がなく、大学進学希望者は島外の高校と塾に

通っていたため、町が高校の中に公営塾を開設し、学習環境の改善を図った。

講師 4人（地域おこし協力隊員）

開設日時 月・金、午後

4～8時

受講料 無料（教材費、

模擬試験などは実費）

▽生徒全国募集

島内の子が減少している中で、全校生徒80人以上を毎年確保するには、島外からの生徒募集が不可欠で、離島の立地と公営塾などの特色を生かして、生徒がプレゼンテーションを行い、全国から生徒を募集している。

▽通学困難地域からの入

学生に対する宿舎提供 生徒全国募集に伴い、県外など通学範囲外の生徒のために宿舎（学習交流センター）を提供している。

寮生 計13人

ハウスマスター 地域お

こし協力隊員2人

他のスタッフ 日直1人、

宿直3人、栄養士1人、

調理員6人

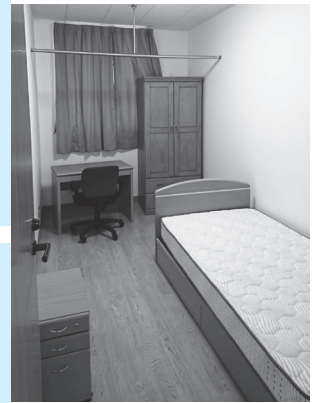
まとめ

大崎上島町は、本土と橋でつながっていない離島であるため、島外への通学や生活は大きな負担であり、その負担を軽減して広島県立大崎海星高校を存続させようと、公営塾など町から多くの支援が行われている。

岩美町では、高規格道路の開通もあり、町民は鳥取市内への通勤・通学を大崎上島町ほどには困難と受け止められていないのか、岩美高の存続に対する関心が薄いように感じる。

しかし、町内移動を行った上での鳥取市内への通学は、クラブ活動への時間的制約もあり、生徒にかける負担は相当にあると思う。

岩美高存続のためには、町立岩美中学校からの進



学習交流センターに備えられた寮生の個室

学率向上がメインの対策であり、保護者や中学生本人の立場に合わせた対応が必要であると考え、岩美中学校に対しても地元高校への進学に協力していただけることを望む。

また、現在の岩美高の魅力化は、在学期間中の魅力化になっているが、保護者が高校に一番期待することは、卒業してからの就職や進学について

で、岩美高を進学先を選ぶためには、進学率、進学先、就職先が岩美高は優位と思える学力レベルの向上が必要であると考え、

大崎上島町では、高校内で無料の公営塾が町により実施されており、町が学習環境の整備に関わることと効果が現れていると思われ。

岩美町でも親子のニーズを聞き取って、県教委や岩美高ともよく協議し、学習環境の向上を模索したい。

また、大崎上島町では生徒と住民が自然に交流できるよう、学生寮を擁する学習交流センターを町が整備し、生活指導を行うハウスマスターに地域おこし協力隊員を活用するなどして、食事、居住、自宅学習の環境が充実している。

岩美町でも保護者に安心感を持たれるよう、ある程度の人数で生活することのような施設を民間と協力して検討すべきと考え、

大崎海星高校に比べ、岩美高校のほうが生徒数は多く、学習内容や部活動が充実している。

生徒募集に当たっては、岩美高が得意とするスポーツを前面に出すべきと考える。

その場合、指導者の確保が重要で、教員の人事異動には配慮を強く求めたい。



大崎上島町は本土とつながる橋がなく、竹原港からフェリーで結ばれる。

常任委員会行政調査

産業福祉常任委員会

調査先

滋賀県甲賀市
酒人ふあ〜む

調査日

30年10月24日

調査の目的

集落1農場方式で土地利用を集団化し、作業効率を向上させている取り組みを学ぶ。

組織の概要

組合員 55名
経営面積 約43ha（水稲21・1ha、麦20ha、野菜2ha）

▽集落営農に至った経過

農家戸数が減少し、集落そのものが壊滅する危機に直面したことをきっかけに委員会を発足させ、生産基盤整備が必要ということになり、集落営農を実施。

組織の特徴

年齢、作業能力などに応じて、オペレーターグループ、なごやかグループ

ha（裏作）、大豆78ha（後作）

調査先

滋賀県甲良町
サンファーム法養寺

調査日

30年10月25日

調査の目的

▽集落営農に至った経過
高齢化、後継者不足で農地を手放す農家が多くなったため、集落営農の永続性と経営体としての高度化を図るために、8集落の営農組織を一体化した営農組織が設立されている。

組織の特徴

大型機械や直播機、無人ヘリコプターなど機械化し、作業の効率化、コストの削減を図っている。

組織の概要

組合員 22名
経営面積 約17ha（水稲8・9ha、麦6ha、大豆6ha）

組織の特徴

農産物を近くの大型飲食店に販売することにより、経営の安定を図っている。

また、新規就農者の受け入れを積極的に行ったり、一年中農業に携われるよう施設園芸に取り組み、「守りの農業」から「攻めの農業」を実践している。

▽3法人を調査して、今後の岩美町の取り組みに生かしたい内容
集落営農とは、農作業



集落営農について説明を受ける（酒人ふあ〜む）

▽3法人を調査して、今後の岩美町の取り組みに生かしたい内容
集落営農とは、農作業

▽集落営農に至った経過
全戸が兼業農家で、高齢化や後継者不足などにより、個々の農家での農作業を行っていくことが困難となっていた。若い人が中心となり、少ないコストで手間をかけずに楽しく田んぼを守っていくことの機運が盛り上がり、営農組合を設立した。その後、法人化し担い手として認められれば、各種の助成措置が得られるなどの理由により法人化された。

農業の競争力、収益力を増していくためには、法人化による経営力の増強が不可欠と言われている中、今町の集落営農も曲がり角を迎えようとしている。

数年で訪れる節目を乗り越えるために、次のことについて岩美町で生かしたい。
1つは、リーダーづくりである。
酒人ふあ〜むでは、消防団の現役世代に地域を守る力になってもらうよう、交流を継続的に行っている。集落や地域でこうした人や集団に着目して、日ごろの付き合いも

常任委員会行政調査



機械化について説明を受ける
(布引営農組合)

含めて交流を継続することとは、意味があると思う。法養寺では、県の現役職員がリーダーになり発足させ、以来やってきている。現在は農業大学校で学んだ若者を引き入れている。

地域農業を守ろうという県や町、農協の現役職員がリーダーとして取り組むこと、地域外、町外の意欲ある現役世代を引き込むことに挑戦することも必要である。

マンネリ化にならない挑戦が必要である。

岩美町産として売り出すためには、集落営農間の連携が重要であり、道の駅「きなんせ岩美」や農協とも連携して挑戦することも大切である。

本町の基幹産業である農業の振興と地域の活性化を図るため、生産組合や法人を設立又はその気運を高める必要を感じた。3つは、法人役員の数をも最小限に抑えることにより、経営方針の明確化、意思決定の迅速化が図れることである。

4つは、各種補助金、助成制度の有効活用は経営安定の一助となるので、常に情報収集を行うことである。この点では行政の役割は大きく、制度を紹介するだけでなく、使う知恵や工夫を凝らすことが必要だ。

調査先

静岡県浜松市天竜区熊
NPO法人
夢未来くんま

調査日

30年10月26日

調査の目的

地域の女性が中心となって、農産物の加工・販売・体験の施設を整備し、地域活性化に取り組んでいく。法人設立に至った経過や苦労した内容について学ぶ。

組織の概要

会員数 約500人

▼村おこしの経緯

熊地区は、昭和30年代後半から高度経済成長に

よる産業構造の変化に伴い人口流出が相次ぎ、昭和30年に2,512人あった人口が昭和61年には1,205人に半減し、旧天竜市内で最も過疎化の顕著な地区であった。このような状況に危機感を持ち、昭和60年10月に、熊地区全戸が加入する「熊地区活性化推進協議会」が組織された。地域を活性化するため、食品の加工所を作って地元

の食文化や味などを地域外の人に知ってもらう活動として、食品加工・販売施設が整備された。その後、継続性と社会性を持つ組織とするため、平成12年6月にNPO法人となった。

法人の組織には、会員約500人(20歳以上)、理事会9人(男性4人、女性5人)と運営母体として「ゆめまちづくり委員会」があり、その事業を4つの組織で活動している。

組織の特徴

NPO法人となり会計を明確化し、収益事業と

非営利事業とを効率的に組み合わせ、飲食、物産館で得られた利益を、高齢者福祉、地域活動及び環境保全などの地域活動に使っている。

営利部門に水車部があるが、明治大学農学部の小田切教授は、「これは全国的にも珍しい」と述べている。それは、①生活改善グループの女性メンバーが基になっていること、②NPO法人の中に収益のあるものがあり、その収益で非収益部分の活動をしていることで、この2つが、全国にも稀な「くんまの特異性」ということだ。

▼岩美町の取り組みにかした内容

住民が地域に誇りを持ち、心豊かで安心して支え合うことのできるシステムを目指して、地域の女性が中心となって特産品の加工製造販売や食堂の運営、福祉サービスなどを展開している。

地域住民全員の組織として運営されており、収益は地域に還元している。

次の世代に町の取り組みや伝統が引き継がれるよう人脈を作り、技術を承継することが地域発展につながっていく。

「夢未来くんま」での一番の教訓は、行政の関わり・役割の大切さである。

合併前の天竜市の時代には、市が親身になって関わり、彼女らが育っていった。その当時は県も同様な関わりをもっていた。

しかし、浜松市に合併してからは、市は何の関わりももっていない。市が関わる気がないので、県の関わりが話の中に出なかったのだと思う。岩美町も地域の活性化のためには、職員がその役割を果たす気持ちを持ち、地域や集落、活動グループの育成のために働くことが必要である。



田淵雅治さん
(大岩)

この度は実行委員という形でこの
ような晴れの舞台に参加させていた
だき、大変嬉しく思っております。
二十歳となった今、これまで私を
育ててくれたこの岩美町に少し
でも貢献できるよう、精進して
いきたいと思ひます。



竹内登子さん
(浦富)

みなさん、成人おめでとうござい
ます！
懐かしい友人や先生方との出会い
もたくさんあり、素敵な成人式に
なったと思います。
いまでもお世話になった岩美町
の方々にも感謝したいです。
20歳を起点にこれからも頑張るぞ～！



藏永かるなさん
(浦富)

私は保育所から高校まで岩美町に
お世話になり、短大に入った今で
も岩美町から通わせてもらっていま
す。今年の4月から就職するため、
岩美町を離れてしまいますが、
美しい自然や地域の人々、大好き
なこの町に育てられた感謝の気持ち
を忘れず、夢
に向かって頑張ります。



平井晴己さん
(岩井)

今年は様々なことに挑戦してい
きたいと思ひます。私は現在大学二
年生で、今年はインターンに積極的
に参加していき社会人の方ともか
わっていくことで、将来の自分に
ついて考えていきたいと思ひます。
また、二十歳という節目に大人とし
ての自覚を持ち、
勉強も遊びも全力で取り組みたい
と思ひます。

新成人に聞きました



浦田亮祐さん
(本庄)

2019年は大
学3年生になる
ので、就職活動
のことを考え出
す時期になりま
す。そのため将
来のことをしっ
かり考える年にしたいです。
また、残り半分のキャンパス
ライフも楽しみたいと思ひ
ています。



成人式実行委員の皆さん



井尻沙紀さん
(浦富)

私が実行委員
になった理由
は、みんなの代
表として何かを
したことがな
かったからで
す。率先して動
くことがなかつたので、今回
このような機会を頂けてよ
かったです。岩美町の一員と
してこれからどんどん岩美
に貢献出来たらなと思ひ
ます！



中瀬翔大さん
(大岩)

この度は実行委員会として成人式に携わ
ることができ、懐かしいメンバーと楽しく
企画させていただきました。県外勢は特に
会う機会が少ないので久しぶりの顔ぶれで
したが昔話を肴に楽しく歓談することがで
きました。中学時代の学友とのつながりは
一生なので大切にしていこうと感じました。
今後岩美を出て就職する人も多いかとは思ひますが、
自分の故郷は岩美町であるということ胸に一社会人
として日々精進していこうと思ひます。



澤 就也さん
(大岩)

僕は将来、小学校の先生になることを夢
としています。そのために今、大学で今ま
であまり勉強してきてなかった分、必死に
勉強しています。
3年後とはなりますが、最終的にはこの
岩美町の小学校で働けることを目標とし
ているので、その最終目標を叶えるために今
まで以上に勉強に熱心になっていきたいと思ひます。ま
た、今回の成人式でみんなが色々な形はありましたが
頑張っているという話をたくさん聞きました。その
お話を聞いていい刺激をもらった部分もあったので、
今後自分の最善を尽くして本気で頑張りたいと思ひました。

議会だより調査特別委員会

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
橋本	升井	森田	吉田	寺垣	宮本	柳村	杉中
	祐子	洋子	保雄	智章	純一	正敏	克宏
恒							美

【発行責任者】
議長 足立 義明

成人式のスナップを
表紙に使い、裏表紙で
実行委員会メンバーの
写真と思いを寄せても
らうことが、12月議会
の議会だよりの恒例と
なっています。
今年も委員全員の集
合写真と一人ひとりの
顔写真を撮影させても
らいました。
全員が、カメラに自
然体向きあっている
と感じました。
スポーツや音楽など、
様々な分野で世界に羽
ばたく若者が次々に誕
生しています。
彼らと岩美の若者に、
共通項があるのでと
思っるのは、わたしだけ
でしょうか。

田中克美

編集後記